

役立つ情報と ウソや間違いが 混在するインターネット



インターネットを使い始めたばかりの子供たちは、ネット上に掲載されている情報を、全て本当のこととして受け取ってしまいがちです。

子供たちの間に出回る偽情報？

今年の夏休みに、子供たちの間にある情報が出回りました。それは「通信料の制限を解除する裏技」というものでした。その方法は、「1を二回、0を一回、すぐに通話ボタンを押す」と通信料の制限が解除されるという内容でした。

しかし、その偽情報の結果、「間違い110番通報」が各地の警察本部で急増したとのことでした。

「多くの人が見ているインターネットに掲載されている情報だから信頼できる」と、内容をよく吟味せず、表示された内容を本当のこととして受け止めて行動した結果、社会を混乱させる状況を引き起こしかねない事例です。



上手に情報収集できる能力が必要

インターネット上の情報は、書き手の判断だけで発信できるため、その真偽を受け手がしっかりと見極めることが必要です。

特に、子供たちにインターネット上の情報を利用させる際には、本などの他のメディアの情報も併せて活用させるなどして、多様な方法で情報を収集したり、他の情報と比較したりする力を育成することが大切です。



指導の要点

様々な情報に接し、活用する機会が多い大人は、即時性のあるインターネットで情報を収集しますが、同時に、インターネット上の情報の信ぴょう性も常に検証しなければならない、という課題意識も持っています。

しかし、学術論文の中にも、安易に他人の論文や書籍を引用した、という事例も多くありました。学校での教育活動においても「文章を書き写してまとめる」だけでなく、その文章を要約したり、他の本を参考に詳しく書いたりするなどの学習活動も大切です。